

虫刺症(虫刺され)

川口市立医療センター
皮膚科 **たぐい ともみ 田杭 具視**



虫刺されは原因となる虫によって症状や注意する点が異なります。多くの虫刺されは刺され続けられない限り、自然に回復するためあまり心配はいりませんが、致死的な感染症を媒介することがあるマダニや、刺した部位全体に非常に強い腫れや赤みを引き起こすことがあるブヨやアブなどに刺された場合には、適切な診断・治療を受ける必要があります。虫刺され対策で最も重要なことは虫に刺されないようにすることです。虫が多くいる場所に出掛けるときには肌の露出部をなるべく少なくし、虫除け剤を正しく使用しましょう。スプレータイプの虫除け剤を軽く噴霧するだけのかたが多く見られますが、日焼け止めと同じで塗った部分にしか効果はありませんので、しっかりと塗り伸ばして使用してください。また、虫除け剤の有効成分は汗で流れてしまうため、数時間ごとに塗り直すことをお勧めします。

虫除け剤は、蚊やブヨ、アブなどの飛翔昆虫に対しては露出部だけの使用でもある程度の効果は期待できますが、マダニのようにしがみ付いて刺咬する場所を探索する虫に対しては服の中も含めて広範囲に使用する必要があります。屋外活動をする際には「面倒くさがらず、ケチらず」を心掛けて虫除け剤を正しく使用してください。近年では熱中症と日焼けの対策はしっかり意識しているかたが多くなってきましたが、健康維持のため虫刺されの対策も十分に意識してください。



2週間以上続く咳・微熱・身体のだるさはありませんか？ ～9月24日から30日は結核予防週間です～

●結核とはどんな病気？

結核菌により主に肺に炎症が起こり、飛沫感染や空気感染する病気です。結核菌の混ざったしぶきが、咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを直接吸い込むことで感染します。結核に感染していても必ず発病するわけではありません。通常は免疫力により結核菌の増殖を体内で抑えることができます。過去には日本人の死亡原因第1位だった結核ですが、現代は医療の向上により、服薬治療で治る病気になりました。

●川口市の結核の状況 日本では今でも1日に約30人の結核患者が発生しています

令和4年の川口市の新たな結核患者数は86人でした。20～59歳の働き盛りの世代が約3割、60歳以上が約7割を占めています。

●結核を予防するために

規則正しい生活を送り、バランスの取れた食事や十分な休息、睡眠をしっかり取りましょう。健康的な生活が予防につながります。また、早期発見は重症化を防ぐだけでなく、家族や職場など周囲のかたへの感染を防ぐためにも重要です。症状が無くても毎年定期的に健診を受けましょう。

40歳以上のかたは市の【肺がん・結核検診】が500円で受けられます。
(6月～翌年2月)

※対象のかたには、健康増進課から5月下旬に「がん検診などの受診券(はがき)」を送付しています。詳細は市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

☎健康増進課 ☎048-256-1135 FAX048-256-2023

次の症状が当てはまる場合には健診を待たずに受診しましょう。

咳・たん 発熱 だるさ 食欲不振 体重減少 寝汗

たんの絡む咳や、微熱・身体のだるさが2週間以上続いている場合は早めに受診しましょう。



※65歳以上のかたは、感染症法施行令により年に1回、結核検診を受診する義務があります。

☎疾病対策課 ☎048-423-6726 FAX048-423-8852

イベントスケジュール

9月 9日(土)
救急フェア
場アリオ川口 →14ページ

16日(土)・17日(日)
第16回川口ツーデーマーチ
場戸塚中台公園(スタート・ゴール会場)ほか

24日(日)
第26回川口健康フェスティバル
場フレンドシア →4ページ

10月 7日(土)
第22回ボランティア見本市
場キューポラ広場 →5ページ

川口市 広報課 職員による
ちょっとだけた？ 市政情報番組
85.6 MHz City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日・平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE 川口市 公式アカウント
LINE ID @kawaguchi.city
※3ヵり川口情報メールと同じ内容の受信も可能

暮らしに役立つ ぜひご利用ください
きらり川口情報メール



そこに登る壁がある ガール

川口市立高等学校3年生
スポーツクライミング選手 小池 はなさん

東京2020オリンピックで初めて正式種目に採用されたスポーツクライミング。壁に配置されたさまざまな形の「ホールド」という突起を、手足を巧みに使って自分の体ひとつで登る競技だ。小池はなさんは、この競技のオリンピック強化選手。
クライミングとの出会いは5歳の頃。「たまたま家族で行ったクライミングジムで登る楽しさを知って、毎日のように通うようになりました」。小学1年生の時に初めて出場した同年代のみの大会で3位を獲得したことをきっかけに、競技者としてのプライドが芽生えた。
小学6年生の時には大人も参加する日本選手権に初出場し、いきなり決勝に進出。それを皮切りに、さまざま大会で結果を残し、世界ユース選手権でもメダルを獲得した。小池さんの日々の練習は自主的に課題を見つけて克服していくスタイル。「大会で良い結果を残せなくても、前の反省が生かされたら、できることが増えたなと実感できると嬉しいです」と話す姿からは、本当にクライミングが好きだと選出された。

小池さんの日々の練習は自主的に課題を見つけて克服していくスタイル。「大会で良い結果を残せなくても、前の反省が生かされたら、できることが増えたなと実感できると嬉しいです」と話す姿からは、本当にクライミングが好きだと選出された。

